

実は宝の山!?! 下水道から生まれる資源を学ぼう!

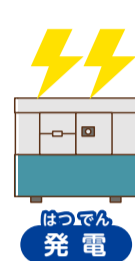
下水汚泥って何?

下水処理場で汚れた水をきれいに
する過程で発生する汚れや微生物
の固まり。日本全国で1年間に生ま
れる下水汚泥の量は約230万tで、
世界最大の生き物と言われるシロ
ナガスクジラ1万5000頭分以上
の重さになるよ。



どうやって有効利用 されているの?

下水汚泥は、資源として、いろいろな
ものに有効利用できるんだよ。レン
ガや工事で使うセメントの原料、農
作物を育てるときに使う肥料になっ
たり、発電に利用することも…!



こうした肥料を
使って全国でおい
しい野菜や果物が
作られているよ!



下水汚泥から炭ができる!?

静岡市では、市内で発生する下水汚泥の一部を
中島浄化センター(駿河区)の汚泥燃料化施設で
400~500度の高温で蒸し焼きにすることで
炭(炭化物)を作っているよ。

静岡市中島浄化センター 汚泥燃料化施設



この施設はミュージック
ビデオやドラマでも
使われているんだよ。
壁にプロジェクション
マッピングを映したこ
ともあるんだよ!

ここで作られた炭はゴミ焼却場などで
燃料の一部として使われているよ!



この炭を使って、
イベントで
SL(蒸気機関車)を
動かす体験も…!



これまでは燃やして処
分していた下水汚泥を
炭にすることで温室効
果ガスの削減にもつな
がるよ!